

# インドネシアのインフラ整備を「地下」から下支え

## 「ハイブリッドボーリング工法」を通して「質の高いインフラ輸出」に貢献

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」においてハイテック株式会社(大阪府大阪市、小宮国盛代表取締役)が提案する「高品質コアの採取が可能な地質調査技術(ハイブリッドボーリング工法)」の導入に係る案件化調査(インドネシア共和国)を採択しました。

インドネシアはGDP5%前後の経済発展を続ける中、インフラ整備が急務となっています。しかしながら、構造物の設計条件(地質情報)を取得するための調査ボーリング技術が未熟なことから、現状では効率的なインフラ整備が阻害されており、経済的・時間的な損失のみならず、安全性の損失も抱えている状態です。

ハイテック株式会社は、「ハイブリッドボーリング工法」(地盤を削孔する時に用いる削孔水を気泡化させることで過大な水圧の発生を回避し、乱れのない高品質なコアを採取するボーリング調査の工法)の豊富な施工実績とノウハウを有しており、インドネシアの抱える上記課題に対して貢献することを目指しています。



ハイブリッド工法によるダムサイト地質調査



ハイブリッド工法による地すべり地層のコア写真

今般の調査により、インドネシア側に「ハイブリッドボーリング工法」の紹介(技術、メリット、実績、コスト、開発効果等)を行うと共に、本邦受入活動を通じた本技術の理解促進等を図る予定です。

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、2012年度から実施されており、今回は全国で36件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査2017年度第1回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation\\_170308\\_result.pdf](https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 担当 飯田/中井

TEL 078-261-0397 e-mail : Iida.Manabu@jica.go.jp / Nakai-Misa@jica.go.jp